

しばた

あわせ
ゆみなく

発行

しばた正彦後援会
〒820-0602
九郎丸661-12
Tel 080-
4316-2581



6月議会の一般質問では、7項目の質問をしました。その中で、「産業廃棄物処理施設」が緊急な問題と思われまので、詳しく報告します。

産廃処理施設ができる?

大将陣公園近く(吉隈)に、産業廃棄物処理施設をつくるのが計画されています。桂川町議会6月本会議の一般質問では、この件に対して、原中さん・吉川さん・柴田の3人が質問しました。

6月14日、原中さん・吉川さんの一般質問で、次のことが明らかにになりました。

《産廃処理施設を設置する予定の会社名》

福岡金属興業株式会社
(本社：直方市中泉)

《処理する産業廃棄物の種類》

- ・汚泥(おでい)・廃油
- ・廃酸・廃アルカリ
- ・廃プラスチック類
- ・ゴムくず・紙くず
- ・木くず・繊維くず
- ・動物系固形不要物
- ・動植物性残渣(ごんさ)
- ・動物の糞尿・動物の死体
- ・感染性廃棄物

《処理能力》

1日当たり95トン

《中間処理場か最終処理場か》

中間処理場

6月15日、それを受けて次のような質問をしました。

柴田：産業廃棄物処理施設を計画している会社が、現在行っている事業内容について教えてください。

課長：HP(ホームページ)などによると、鉄スクラップの仕入れ・加工・販売、産業廃棄物の収集運搬・圧

縮切断・破碎・選別です。

柴田：汚泥・危険物・感染性廃棄物などの中間処理は初めて行うということですか。

課長：これまで、このような事業をしたということは聞いていません。

柴田：福島の汚染物質が来るかどうかは、わかりませんよね。

課長：申し訳ありませんが、把握できません。

大突突突突

柴田：九郎丸では、飯塚・嘉麻・桂川のゴミを処理する大型焼却場ができると、パッカー車がが増えて危ないのでは、という意見がよく出ます。

昨日の回答では、大将陣公園近くに行ける産廃処理施設は、24時間稼働で、1日に95トン処理できるということでした。桂川町の桂苑(74トン)よりも、はるかに処理能力が高いとい

うことに驚きました。ということは、膨大な危険物質が桂川町に朝・昼・晩と運ばれてくることになるんですが、大丈夫なんですか。

課長：大丈夫というのが理解できないところもあるんですが、夜間帯の搬入はないと聞き及んでいます。

柴田：この産廃事業者は民間で、桂川町も飯塚市も県も関係ないと考えていいのですか。

課長：はい、ご指摘の通り民間業者です。

柴田：民間が、自分の金もうけでやるということですね。九郎丸が候補にあがっている焼却場とは全然違うということですね。

では、なぜ、この民間業者は桂川町で産廃事業を行おうとしているのですか。

課長：詳細はわかりませんが、桂川町に自社所有地があることも要因と思われるます。

柴田：ある区長さんの所で

「桂川町が福岡県の中央にあり、北九州市からも福岡市からも運びやすい」と言っているようですが、お聞きになっていますか。

課長：聞いています。

柴田：当然、工事を始める段階で、町長にもあいさつに来られたと思いますが、そのときどんな説明がありましたか。

町長：昨年末だったと思いますが、あいさつ来られました。その中では、特段、内容には触れていません。このようなどりくみをしたのでよろしくという程度でした。



大将陣公園

柴田：危険物が大量に来る。大型車が朝・昼と何台も来る。原中さんが指摘されたように、中間処理施設というが、その後のことはわからない。つくる場所は、市民の憩いの場のすぐ横です。

(略)
問題がいろいろあるので、町長として、どのように考えてありますか。

町長：これは、県知事の認可事業ですので、事業者は県知事に対して申請します。必要に応じて、桂川町の意見を聞くという場面もあります。

基本的には住民の安全と環境保全。これは町として果たさなければならぬ責務だと思っております。(略)
本町として、どう対応していくのか、これからの課題と考えています。

柴田：飯塚市にも関係すると思われるが、飯塚市と話をされていますか。

課長：飯塚市の部局とは情報のやりとりを行う確認は

できております。

説明会何？

柴田：昨日、吉川さんは「町民のくらしと命を守るのが町の役目」だと言われました。

私も不安だけど、町のみなさん、特に近接したみなさんはもつと不安だと思います。

北九州や福岡市から大型車が来るのなら、桂川全体の問題になってくる。町民に対する詳しい説明を求めているかなければならないと思います。いかがでしょう。

課長：説明会の責任は事業者です。あとは状況に応じて、こちらも対応する必要があると認識しています。

柴田：動き始めたら止まらないと思えますよ。(略)

柴田：住民の反対がおこったときには、「町民のくらしと命を守るのが町の役目」の町長はどつこられますか。

町長：この先どのように進

展するのが見当がつかません。その時々状況を勘案することしかできないと思います。

柴田：できるだけ、即で動いてください。私も、いいとか、悪いとか決めつけていません。説明を聞かないとわからないから。しかし、ちよつと危(あや)ういなとは思っています。



他の一般質問について

①これまで「検討する」などと言われたことその後

「移住定住施策に関する庁内横断的なワーキンググループの設立」

「嘉麻市・飯塚市のような出産祝い金事業」

「県立嘉穂総合高校との連携」

「70歳になられる方への『桂川敬老健幸チケット』」

「駅北側バス駐車場の今後の使い方」

「観光案内所の活用」

「駅のサイン計画」

「ランドセルの支給」

について、検討したのか。したならば、どうなっているのか。していないならば、なぜ、検討していないのかを、いちいち尋ねていきます。

②保育所(園)の待機児童

4月から待機児童が出ています。担当課の努力は分かっていますが、国や県の補助金をアテにしても限界

があります。桂川町独自の施策が必要です。

③幼稚園

幼稚園の職員異動は、今年度もありませんでした。「現状を考慮し、異動しない方が適切と判断したから」と町長は言われます。しかし、それがなぜ適切なのかは、今回も答えられませんでした。

また、幼保一元化を行うとき、桂川幼稚園の職員はどうするのか問いましたが、「職員の人事に関する事なので、こういう場で答弁することではない」とくり返されるのみでした。

④町誌

今、なぜ町誌なのか問いました。

私も、資料の保存が必要だと思います。それも、デジタルデータが望ましい。

今は資料を集め、デジタル化しておけばいい。土師保育所・桂川小中学校・配水場ができてから、町誌つ

くりに取りかかるときです。

⑤新ゴミ処理施設(焼却場)

進行状況、SDGs・ワンヘルスの考えが生かされるのかなどを尋ねました。

町長：超大型の事業で、しかも本町にとって直接関係する事業でありますので、積極的かつ慎重な対応が必要だと思っています。

⑥産業廃棄物処理施設

前述

⑦プレミアム付き商品券の販売
全体の発行冊数が13000冊。そのうち2割の2600冊分をキャッシュレス商品券とする計画になっています。

キャッシュレス化の動きは避けられないと思われる。他市のように、ていねいに、具体的に説明する係を置くべきと提案しました。



意見書2件採択

次の意見書2件を桂川町議会として提出しました。

《ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算の策定を求める意見書》

ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、1学級の児童・生徒数を減らすこと、教員の配置増が必要です。そこで、
・中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。

・学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するために、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進する。など6項目を願う意見書を衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣に提出しました。全員賛成でした。

《最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書》

新型コロナウイルス感染症拡大や円安による物価高騰は、中小零細企業を中心に打撃を与え、地域経済を疲弊させています。

特に、最低賃金で働く非正規雇用など弱い立場の労働者の生活破綻は深刻です。OECD諸国で最低水準にある最低賃金の大幅引き上げを図ることが不可欠です。

また、日本では地域別に最低賃金を決めていることが、最低賃金上がりにくい要因にもなっています。OECD諸国のほとんどは全国一律の最低賃金制をとり、具体的な中小企業支援策を確実に実施し、最低賃金の引き上げを支えています。地域経済と中小企業を支える循環型地域経済の確立によって、だれもが安心して暮らせる社会をつくるこ

とができます。そこで、

1. 最低賃金法を全国一律制度に改正する。
2. 労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円以上をめざす。
3. 最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守る。

を願う意見書を内閣総理大臣・厚生労働大臣・中央最低賃金審議会会長に提出しました。

賛成6(原中・竹本・杉村・吉川・大塚・柴田)、反対3(青柳・下川・北原)で、賛成多数でした。「敬称略」





HPもごらん下さい。
「桂川町議会議員 しばた
正彦」と入れれば出てきま
す。QRコードからも入れ
ます。

第3回懇談会

- | | | |
|---|-----|--------------------|
| 1 | 期 日 | 8月19日(土) |
| 2 | 時 間 | 10:00~12:00 |
| 3 | 場 所 | 桂川町住民センター |
| 4 | 連絡先 | 柴田正彦 080-4316-2581 |

*参加される方は、事前に柴田まで連絡していただきますようお願いいたします



あっち こっち どっち?

- | | |
|----------|--|
| 7月14日(金) | 広報委員会 |
| 20日(木) | 広報委員会 |
| 24日(月) | 文教厚生委員会 |
| 29日(土) | 地方議会活性化フォーラム(飯塚市)
『どうする?議員の数、減らす?増やす?』 |
| 31日(月) | 福岡県市議会議長会議員研修会(久留米市)
『地方議会の役割と議会改革』 |
| 8月2日(水) | 文教厚生委員会 |
| 10日(木) | 全国地方議員交流研修会in九州・長崎(長崎市)
『長崎からアジアの平和を展望する』 |
| 11日(金) | 『子どもの貧困問題と後退する社会保障』 |
| 17日(木) | 町村議会1期目議員等研修会(福岡市)
『議会運営と質問の基本的考え方』 |
| 18日(金) | 委員長・副委員長研修会 *オンライン参加
『委員会の進め方』 |
| 22日(火) | 文教厚生委員会 |
| 28日(月) | 議会運営委員会 |

後援会員募集 年会費1,000円

後援会員のみなさんには、ひと月1回『月刊しあわせばとん』をお届けしています。

『月刊しあわせばとん』には、『後援会だより』には書きにくい趣味や日々のこと、本音などを書いていきます。 申し込みは柴田まで

080・4316・2581

